

JUST NOW

<https://www.shinkin.co.jp/wakashin/>

稚内しんきんの情報は、ホームページでも詳しくお伝えしております。
また、本誌ジャスト・ナウでは皆さまからのお便りをお待ちしております。
身近な話題、取り上げてほしい題材など、お葉書・FAXでもお気軽にお寄せください。

ご自由にお持ち帰りください



北海道電力ネットワーク様が管轄する最北の水力発電所(出力170kW)
姫沼の余水ほか4河川を用いて発電



島の電気を守る **利尻電業 株式会社** (利尻町)

進化し続ける島の老舗商店 **さとうくん** (利尻富士町)

株式会社 総建 代表取締役 **藤田 敏春**さん・専務取締役 **藤田 翔**さん (礼文町)

CHICO GARAGE (利尻町)

礼文島油絵愛好会 **岡本 芽李衣**さん (礼文町)

稚内警察署 香深駐在所長 北海道警部補 **仲谷 雄大**さん (礼文町)

マルナカ **中島商店**の「糠ほっけ」と「礼文島だし昆布」(礼文町)

Cover Photo

日本最北の水力発電所
鷺泊発電所
(Rishiri)

今号の表紙は
利尻電業(株)が管理する
鷺泊発電所

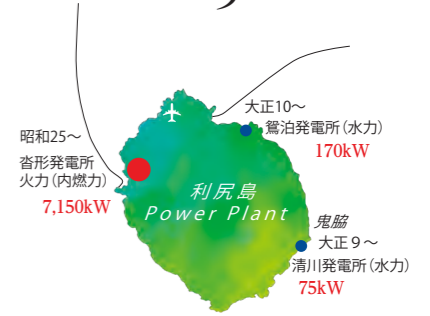
●2~3P ズームアップ北

Vol.131
CONTENTS



利尻電業株式会社

社員全員がプライドを持って島の電気を守っている。その熱い思いがDNAとなり次世代に連鎖してほしい。



利尻電業株式会社

代表取締役社長

大沼 百合子さん

- 1953(昭和28)年、利尻町生まれ。
- 1971(昭和46)年、利尻高校卒業。
- 1973(昭和48)年、静修短期大学卒業(現札幌国際大学短期大学部)。
- 1973(昭和48)年、三菱電機(株)北海道支社入社。
- 1977(昭和52)年、同社退社。
- 1997(平成9)年、社会福祉法人北海道ハビニス入職。
- 2015(平成27)年、同社会福祉法人 常務理事・総合施設長に就任。
- 2017(平成29)年5月、同法人退職後、利尻電業(株)代表取締役社長に就任。

利尻町杵形字富士見町56番地の4
 ☎0163-84-2310
 ☎0163-84-2999

事業内容 / 発電所運転保守業務
 発電設備の機械器具設置工事
 送電設備工事・配線工事
 電気設備・配線・通信の保守メンテナンス
 発電所向け石油製品(A重油・潤滑油)の輸送および販売、消防設備、防災設備の施工および保守点検、電気機器の販売

全道でブラックアウトが発生した時、停電しなかった場所がある。

平成30(2018)年9月6日。多くの道民がまだ眠りの中にいた午前3時過ぎ、最大震度7の大地震が胆振東部を襲いました。多くの犠牲者と甚大なる被害をもたらしたその地震の大きさもさることながら、ブラックアウトも大きな問題となりました。電気が点かない。テレビが映らないため災害情報も停電・断水情報も入手できず、どの家庭も懐中電灯やロウソクの燈で不安な数日を過ごしました。そしてあの時ほど、電気のありがたみを知ったことはないのではないのでしょうか。

ところで、そのブラックアウトの影響を受けずに済んだ場所があることをご存知でしょうか。停電することなく、まったく普段通りに電気が使えていたのが利尻島でした。

なぜでしょう。それは、この島の電気が、北海道本土の稚内と送電線や海底ケーブルで繋がっているわけでは

お隣の礼文発電所、焼尻島、奥尻島も北海道胆振東部地震では停電しませんでした。

ないからです。島内の電気は島内で委託を受けている利尻電業(株)がつくり届けていたからです。現在4代目の大沼社長はこう言います。

「あの時、何が起きていたのか最初はまったく分かりませんでした。いつも通りに電気が点きテレビが映りましたから。なので緊急速報で『北海道全域でブラックアウトが発生』と言われても『利尻は北海道じゃないのかしら?』とピンときませんでした。そのうち稚内の方や札幌にいる子どもたちから電話がきて大惨事を知ることになるのですが。」

利尻島には、たとえ小さくてもかけがえのない発電所が2つある。

「現在、利尻島には水力と火力の3つの発電所があります。一番最初に電気が灯ったのは大正9(1920)年。鬼脇電気(株)が建設した清川発電所(当初の出力は25kW)から島の電気の歴史は始まります。現存する水力発電所の中で、北海道電力(株)さん(以下

53)年より一般電気事業者の認可を得て営業を開始しました。日本電気事業史の中でも小さな組合が大きな電力会社から分離・独立した極めてユニークな事例であるそうです。

北電や札幌通産局の方々から助言や支援をいただきながら、大きな計算機を抱え、国鉄と青函連絡船を乗り継ぎ、数日かけて東京の通産局へ陳情、交渉へ行くなど大変な苦労があったと後年聞き及んでいます。

その後、発電機の増設や保守管理等、島民からの出資や寄附、補助金を得るために利尻電気漁業協同組合連合会と改組するなど維持してきましたが、電気料金が高額であったことなどから昭和47(1972)年に北電に移管され本道と同じ料金体系となり、電気料金は3分の2となりました。

私どもの利尻電業(株)は、北電への移管を前提とし、昭和44(1969)年に

島の電気を守るプライドを次世代に継承するために。

杵形発電所(現在出力7,150kW)では、A重油を燃料とするディーゼルエンジンの内燃機関で発電する内燃力発電を採用しています。石炭や天然ガス燃料方式と違い発電量は多くありませんが、熱効率は35〜45%と高く、エンジンの始動と停止が容易であることから離島の発電にとても向いているのです。

しかしその一方、エンジンの定期的な保守点検が不可欠で、これを万怠るとブラックアウトとまではいかない

的に水力発電所の背後には山があり、地形を活かし落差を利用して水車を回します。その水車が発電機を回し電気をつくるのですから、落差が大きいほど、水量が多ければ多いほど電気をたくさん発電することが出来ます。しかし、自然の恵みである水を繰り返して使うことができる点はとてもエコであつても、天候に左右されやすいのが再エネの弱点であり、常に全島に安定的に電気を供給するためには、現状では火力発電に頼らざるを得ません。

越智家は電気事業のため愛媛県越智郡から利尻島に移住。

「私の父(越智力さん)は愛媛県越智郡の出身ですが、遠戚から利尻島に利尻電気利用組合(以下組合)がで



利尻島で最も古い、鬼脇にある小さな清川発電所。

としても、大規模な停電を起こさないと限りません。仮にもし何らかのトラブルが発生した場合、ここは離島ですから、ここにいる社員で解決しなければなりません。そういう事態に陥ることのないよう、発電所では3交代・24時間体制で6機の発電機を運転し、厳しいメンテナンスチェックにあつていきます。どの電気工事士さんも電気施工管理技士のみなさんも視線が真っ直ぐで、仕事をしている姿がカッコよく見えました。

「人材育成こそが最も重要です。そのため社員教育にも力を注ぎ、資格取得の際は宿泊交通費(試験会場はほとんどが札幌)を含めすべて会社が負担し、合格時には奨励金を、給料面でも資格手当を支給するなど手厚くサポートしています。

島の電気を守るという使命はとて大きなやり甲斐のある仕事であるはずなのに、正直言いますと社員募集に苦労しています。若い人たちは高校を卒業するとほとんどが島から離れてしまいますので。それを少しでも食い止めるためにも、先輩たちの島の電気に懸ける思い、プライドに触れてほしいと思います。それと、もっと電気について知ってもらったり、興味を持ってもらえるよう、職業体験や見学会など小中高校生、一般の方も対象にしたプログラムも考えているところなんです。女性にもどんどん進出してきてほしいですね。」

燃料はタンカー船によって稚内や小樽、室蘭、苫小牧などから運搬。それをタンクローリーで杵形発電所の合計500kℓの燃料タンクに。発電した6600Vの電気は高圧配電線を経て、最終的に家庭で使えるように電柱のトランスで100Vに。



杵形発電所 200・300kℓのタンクを完備。



利尻電業(株)のオフィス。



この円盤状のものがタービン。



電気の需要を予測し、7〜12号機で発電量を調節し供給している。



遠方監視制御装置を通して清川・鷺泊の発電量もコントロール。



私が求める店づくりは、地域でいちばん愛される店。

進化し続ける島の老舗商店 株式会社佐藤商店の

JOYFUL SHOP WITH LIQUOR やとくん

みんなから愛されるためには、一人ひとりに誠実であること。

2019（令和元）年11月21日、セイコーマート利尻店がリニューアルオープンしました。その日の光景を目にした島民なのか、それとも旅行者なのかは分かりませんが、誰かが撮った一枚の写真がTwitter（現X）に投稿され、大きな話題となりました。それはネットニュースにもなり、瞬く間に広がっていき、多くのコメントが書き込まれました。

「こんなコンビニはあり得ない」「いまだかつてここまでオープンを祝ってもらっているコンビニは見たことがない」さらに「北海道など地方の僻地においてコンビニは、単なるお店じゃなくて、重要な生活インフラの一つであるってのは利尻島にリニューアルオープンしたセイコーマートの祝い花の数見りゃ一目瞭然

という新潟商人の言葉があり、佐藤家の人柄が偲ばれるようです。

5年後に創業100周年記念を迎える佐藤商店。

「これは稚内信金さんの前の前の松倉支店長から教えていただいたことですが、うちの創業が昭和3年だということが分かりました。信金さんに残されている古い資料から、佐藤末吉（初代社長）が800円を借りた記録が残されていたのです。末吉というのは私の祖父です。そのお金で開業したのか、店を拡張したのかは分かりませんが、佐藤商店のはじまりは、地元の漁師さんを相手にした酒・たばこからでした。その後、島に家具屋さんがなかったものから家具屋も別棟で始めて、やがて建材も扱うようになりました。建材が売れば家が建つということが分かり、家が建てば家具も必要になるだろうという目論見だったようです。その家具店にスポーツ店を併設したのは私です。



モンベルと提携して制作した大好評のオリジナルTシャツ。デザインもいい!



音、利尻にあった利尻酒造の「米泉」を復刻。レジカウターの奥の棚に地酒や銘酒が。



酒コーナーの陳列が常にきれいに引き届いている。店内は広く明るく、商品バラエティも豊富。

だよ」。もうお分かりかと思いますが、店舗はビッシリと隙間なく祝い花で囲まれていたのです。40もの花輪で店が見えなくなるほどに。果たして、オーナーの佐藤吉郎社長はそのことをどう受け止めたのでしょうか。

「私ではなく、親父（佐藤純夫さん）の力ですよ。親父がこの島でやってきたことの評価だと思います。多くの人たちが『私も私の子どもたちも、ずーっとお世話になってきた佐藤商店だから、花の一つでも贈ろう』そういう気持ちが集まったのではないのでしょうか。」

もちろん、それもあるでしょうが、佐藤さんは父からの遺言のような言葉『みんなに愛される店』づくりを徹してきたその結果だと思えます。

「親父はちょうど70歳で亡くなったのですが、生前、私はいつも怒られてばかりいました。いつだったか親父を継ぐための修業をしていた私は、30歳で島に戻るつもりでしたが、あまりにも父が『帰ってこい、帰ってこい』と言うものですから根負けし、予定より2年早くUターンしました。但し、一つだけ親父に条件をつけ『1ヶ月間旅をさせてほしい』と東北を中心にまわってきました。

その時でした。車で走っていると視覚に『おかもとくん』と、ひらがなで書かれた店が飛び込んできたのです。どうしても気になったものから、バックして戻って酒屋の中を覗いてみると、それがまたすごくイイのです。インテリアデザインがわざと古めかしく造り込まれていて、床などはギシギシ鳴って。『あ



株式会社 佐藤商店

代表取締役 キチロウ 佐藤 吉郎さん

●1962(昭和37)年7月14日、利尻富士町生まれ。高校まで利尻に住み、その後札幌へ。30歳で島に戻る計画をしていたが、父の度重なる「帰ってこい」コールに負け、2年早くUターン。帰郷後、店名を「さとくん」に変更。家具店に併設し、スポーツ店を開業。2000(平成12)年6月、セイコーマート利尻店をオープン。2003(平成15)年1月、父・純夫さん死去に伴い代表取締役に就任。2011(平成23)年、道路拡幅のため「さとくん」リニューアルオープン。2019(令和元)年11月、セイコーマート利尻店をリニューアルオープン。

さとくん
利尻富士町鷺泊字本町14番地
☎0163-82-1151
☎0163-82-2515
●グループ
佐藤家具・スポーツ店
佐藤建材センター
セイコーマート利尻店



父にこう聞いたことがありました。「親父、決算どうだったの?」「なに! てめえ、数字聞いて何すんだ。てめえの仕事は何よ? ものを売ることだろ。お客さんから愛されることだべ」とか、いつも非常に厳しい人でした。」

厳しい反面、佐藤社長は生まれながらに、それはもう父に愛されて育ちました。父もまた息子を愛し、どうやらお話を聞くに連れ、佐藤家には代々とても強い親子愛、兄妹愛が備わっているようです。その家族愛が隣人愛に広がり、さらに大きく島民愛に繋がっているように感じてなりません。そうしてそのことは、多くの島民の知るところとなり、みんなから愛される店づくりを目指した結果、地域でいちばん愛される店として選ばれ、支持されるようになったのだと思います。

「親父が亡くなったのは20年前で、

あ、こんな店づくりをしたいなあ」という思いを持ち帰り、旅を終えたのです。

一方で、親父は親父で「長男が帰ってくる。よし!」と張り切っていた店を新築(前店舗)してしまっただけです。そこで聞きました。「店の看板はどうするの?」「佐藤商店株式会社だ」と。「いや、それやめようよ。さとくんにしなさい?」

「まあ、これからはお前の時代だ。好きにすればいい」と、この店名になりました。」

酒、たばこ、食料品、事務機器など幅広い商品を扱う同店では、今では文房具やオモチャ、ファンシーグッズなども扱うため、島の子どもたちにも人気があります。

スポーツ店はどのように生まれたのでしょうか。

「私の帰りを待っていたかのように、商工会青年部の仲間たちが『野球部に入れ』と言うのでグローブやスパイクを買いに行ったのです。ところが私が欲しいようなグローブやバットがなかったので、たまたま、その話を親父にしたら『じゃあスポーツショップでもやったらいいんじゃないか』と。」

さとくんでは、飲食店へのお酒の卸としても大きな信頼を得、ここだけならば買うことのできないオリジナル商品も充実しています。昆布製品や昆布ラーメン、地元の主婦が

私が41歳の時でした。あれは忘れもしないその年の元旦、親父は急にオカシイことばかり連発するようになりました。「おい、愛知万博見に行くぞ」「おい、沖縄へゴルフに連れて行ってやる」「2月からは代を譲る。オレが陰で支えるからお前が社長をやりなさい」などと口走り、1週間後の8日に息を引き取りました。悲しいのに涙も出なかったです。むしろ「この大きい会社、どうしたらいいんだ?」と、プレッシャーに負けそうでした。けれど、持ち前の負けず嫌いの性格が、いつしか「地域でいちばん愛される店」になることを目標に「酒を売らしたらいちばん」『建材売らせてもいちばん』になろうと決め、ここまでできました。」

父からは経営を何一つ教わらなかったという佐藤さんですが、祖父の出身地であり、父も高校に通った新潟に「商いは誠意ある人づきあい」

採ってきた海藻なども好評とのこと。また、利尻島内限定で一昨年から販売している島オリジナルのデザインTシャツは、アウトドア用品製造販売を行うモンベル(大阪府)との提携商品。速乾性やUVカット効果など着ごこちもよく、口コミやインスタグラムなどで広まり、現在までに販売数4,000枚を突破。島民にも愛用されているとか。

さらに、建材や資材分野でも躍進を遂げました。

「初めは建材のケの字も分からない素人で、サッシの寸法すら知りませんでした。社には2人の先輩がいましたが、例えば『あそこで家建ててるけど営業いく?』『いや行かない。黙ってても注文来るし』そんな消極的な感じでした。建築資材の公共事業への参入や下請は「稚内のゼネコンが取るから稚内の建材屋に仕事の流れっていくんだ」と指をくわえて見ているだけでした。それが悔しくて一人で役所へ行き、見よう見真似で見積書をつくり、やがて入札にも参入し、500万円以上の仕事も受注できるように建設業の許可も取りました。どんな仕事も面白くなってきて、親父も「吉郎すごいな、決めてきたか。給料上げてやる」と上機嫌だった顔を思い出します。あと5年で創業100周年。島民への感謝の気持ちと利尻への愛情をたっぷり込めたイベントを計画中です。」



香深で最も電気がくるのが遅かった内路に生まれて

礼文島の電気の歴史は利尻島よりわずかに古く、1918（大正7）年に、香深村に香深電灯株式会社が発立されることから始まりました。翌年には同社の火力発電所によって、香深村内の住宅など約1,000戸に電気が灯ります。但し、内路、起登臼、元地の地域は除外されていました。1941（昭和16）年には、現在の礼文発電所（火力／内燃力発電）が建つ起登臼に水力発電所が完成しましたが、またもや内路だけが除かれる運命にありました。その後、内路まで配電線工事が完成したのは戦後の1947（昭和22）年になってからのことです。つまり香深村に最初に灯が点いてから30年か



事務所内部と外観。社屋を移転したばかりでこれから看板・サインなどが設置されるとのこと。移転先は、礼文島温泉うすゆきの湯と隣接する礼文町社会福祉協議会の道路を挟んだ真向かい。

かったことになりました。ちなみに同じ年に香深中学校の分校として内路中学校が開校し、4年目には独立します。

礼文町で電気工事と電気通信工事を請け負う(株)総建を経営する藤田敏春社長は、その香深地区で最も電気が来るのが遅かった内路の出身で、内路中学校（のちに香深中学校に統合）の卒業生です。

社長の藤田敏春さん(68)



専務の藤田 翔さん(41)

藤田社長が中学校を出て、香深の(株)大津電気商会に入社した1971（昭和46）年は、NHKが総合テレビ

大切なことは、とにかく自分が動くこと。信頼を得るためにやり遂げること。

株式会社総建

代表取締役

藤田 敏春さん
専務取締役
藤田 翔さん

ビの全番組をカラー化した年で、多くの家庭にカラーテレビや掃除機、二槽式洗濯機、冷凍庫付冷蔵庫などの家電が普及し、社会にとってますます電気が重要なものになっていました。そんなムードの中、大津電気商会の需要も増すばかり。しかし、一番下っ端の藤田社長は見習いとして来る日も来る日もひたすら一人前になると努力するもの、時には電気が恨めしくなることも。当時の電気工事は厳しい職人気質の世界でしたから「技術は教えられるものではなく盗むもの」という考え方が主流で、業界から離れていく者もありましたが、その持ち前の逞しさと向上心で厳しさを乗り越え、やが

て独立し、今日に至るまで電気工事一筋に礼文で生きてきたのが総建の藤田社長なのでした。「平成3年に個人として礼文電気工事を創業し、稚内市にある電建(株)さんの当時の小倉社長さん（稚内電気協会会長）に応援していただきながら、平成8年に法人化し総建を設立しました。仕事の内容は大津さんで行っていたことほとんど変わりはありません。外の工事（外線工事）も中（内線工事）も何から何までやりました。」

外線工事とは、発電所や変電所から電柱までの工事を指し、主に電線の張り替えや電柱に取り付けである変圧器などの新設・吊り替え、また電柱の新設・立て替えな

現在ではこのやり甲斐のある職業を選択して良かったと痛感しています。

「おかげさまで北海道ではCランク（入札するための格付け）ですが、礼文町では特Aをいただけるまでになりました。これも信頼の証と言えるでしょうか。今後の電気工事業界の発展を願うと、若い人が当社でどんどん資格を取って独立して欲しいと思っています。ですので、育てて支援する体制づくりにも取り組んでいきます。

これは礼文の地域特性なのですが、冬は吹雪が多く、そんな日の停電復旧作業は泣きたくなくなるほど厳しいものがあります。車だと10分で行ける山もホワイトアウトに阻まれ歩いて行かなければならず、時には半日かかることも。それでもその苦しさを向こうにお客さまを思い浮かべると、自ずと信頼に応えたい気持ち湧き上がってきます。ありがたい言葉一つで救われる思いがして、やり遂げたことが大きな喜びと力になります。

「高校は札幌工業高校、その後は北海道東海大学旭川校（現在は札幌に統合）で、いずれも建築を学びました。ところが、いざ就職活動の段になったら、建築の求人がまったくないのです。言わば就職氷河期で、それで方向転換し家業に就くことになったわけですが、

特に私が入社してからは通信分野の工事が増えました。NTTさん系列のつうけんさんの協力会社としての業務、光回線やネット回線網、LAN工事なども行います。一部ですがNHKさんから電波供給・保守の仕事も請けています。うちの社長はアナログ人間ですからその分野は私が責任を持って。」

「それらの仕事を行うためには、電気工事士（第1種・2種）と電気工事施工管理技士（1級・2級）の2つの資格が必要不可欠となっています。公共事業に入札する資格を得るためにも、北電さんの指定、北部電気工事業協同組合（2社からの推薦が必要／本部は名寄市）に登録させてもらうためには上級でなければならず、私も息子の専務も第1種と1級を取得しています。」

学校や病院、フェリーターミナルなど大きな公共事業も、そして一般家庭での工事でも電気工事は現場施工だけ行えばいいという仕事ではありません。入札や受注を伴う営業、設計、監理、積算、施工、施工管理、工程管理、品質管理、安全管理なども担っているの

礼文町IRU光本線架線工事



大備下水ポンプ電線改修工事



うすゆきの湯改修電気設備工事



株式会社 総建

礼文町大字香深村字ベッシュ961-1

☎0163-86-1339

北海道知事許可 第580731号

電気工事、管工事、電気通信工事ほか

■設立／1996(平成8)年3月

■資本金／1,000万円

■従業員／20名(役員2名、作業員7名、事務員3名、契約社員8名)

Personal Profile

藤田 翔さん

1982(昭和57)年4月、礼文町生まれ(二男)。2001(平成13)年3月、札幌工業高校建築科卒業。2005(平成17)年3月、北海道東海大学旭川校芸術工学部建築コース卒業後4月、礼文町にUターンし、父が経営する(株)総建に入社。2007(平成19)年4月、北海電気工事(株)(稚内市)に入社。2009(平成21)年10月、(株)総建に再入社。2019(令和元)年6月、専務取締役に就任。

藤田 敏春さん

1955(昭和30)年4月、礼文町生まれ。1971(昭和46)年3月、礼文町立内路中学校卒業と同時に4月、(株)大津電気商会入社。1987(昭和62)年3月、(株)大津電気商会退社。電建(株)(稚内市)の仕事を手伝う。1991(平成3)年4月、礼文電気工事創業。1996(平成8)年3月(株)総建設立と同時に代表取締役に就任。

Personal Profile

噂の店や宿を訪ねて

マチココミ クチコミ 取材班

お店のコンセプト

「一緒に起業するために、50代前半で利尻町役場を退職した主人(店長・あだ名はCee)と1年間だけ東京で修業という勉強をし、向こうでネットショップやイベントに参加しながら2019年にチコ・ガレージを立ち上げたのははじまりです。翌年2020年7月には、杵形港フェリーターミナル前(徒歩30秒)に立地する『どんと物産店』に、利尻島初のオリジナルアパレル・雑貨ブランドとしてオープンしました。店のコンセプトは、大自然にインスパイアされたクールなデザインを発信



I'm Gaya
マルシェバッグ 980円
外道扱いされることが多い魚。通称「ガヤ」と呼ばれるエゾメバルをモチーフに。



KOMBU HOSHI STYLE
Tシャツ 3,500円
島のお母さんが昆布(愛情込めて赤いハートで表現)を干している姿をデザイン。



Tabé T(島の旬カレンダーデザイン)
Tシャツ 3,600円
島民とコラボしてデザインした、利尻の旬をカレンダーにしたTシャツ。



チコ・ガレージ
CHICO GARAGE
RISHIRI BASE
代表・デザイナー 張間 綾さん

住 利尻郡利尻町杵形字富士見町134
☎ 0163-85-7375
営 10:00~20:00
休 5~9月までは無休
10~4月は毎週火曜日
☎ カフェ、パーティタイムいずれも禁煙



*表示価格はいずれも消費税込み

お気軽にご相談ください。」
人気のTシャツやバッグ
「代表的なアイテムはTシャツ、キャップ、バッグ、エプロンをはじめ雑貨、利尻島上陸証明書つきのパスポートやコースター、キーリング、ポストカードなどもあります。最近の商品

美味しいカフェとパーティタイム
「物販以外に、2人交代で対応しているカフェタイムとパーティタイムに、挽き立ての珈琲やお酒のショットサーブなどを提供しています。パーティタイムの間は決めています。地元の人

すること。利尻であまり日に当たらないもの、目につきにくいもの、まだまだ隠れている利尻の魅力を紹介しています。オリジナルアパレル商品以外にも、アクセサリーなどのコラボ商品、輸入雑貨や食品、飲食スペースも用意しています。商品の委託制作も請けおっていますので、

として人気があるのはガヤのバッグ、衣類では島のお母さんが昆布を干している姿を描いたもの(バンクシーをオマージュした作風)、利尻でとれる旬のものが一目で分かるカレンダーになっています。私と店長でアイデアとデザインのキャッチボールをしながら、製作しています。」

Homepage Facebook Instagram

HP     

いろんな角度から利尻島を紹介してくれる、張間綾さんの面白YouTube
あやばんの利尻島生活  

漁師さんや島の人にもたくさんご利用いただいています。」
今後は世界へ向けても発信
「私は利尻町出身ではなく、若い頃から日本各地、海外の多くの国でリゾートバイトを経験したのち利尻に辿り着いた旅人の一人です。今後は世界にも発信していこうと思っています。」

チコはスペイン語で「小さい」を意味。カウンターに立つ店長 張間 静也さん。建物の外壁にも昆布干しのイラストが。



うへの殻剥き使用するザルや海藻をモチーフとした物やエプロン、バッグなど楽しい商品が並びCHICO GARAGE。地元企業とコラボレートしたTシャツなどもあり、どれもクールでおしゃれなデザイン。夏期は店外にテーブルセットが置かれ、潮風に吹かれ利尻山を眺めながらテラスで飲むビールや珈琲の味も格別です。
●店の印象/代表の張間 綾さんが、とにかく明るく人前で常に笑顔で対応してくれます。多くの国をリゾートバイトで旅した人生経験が人間味によく現れていて、誰に対しての心をオープンにして受け入れてくれそう。一方、静かな語り口の張間 静也さんは、おっとり派に見えますが、AdobeのIllustratorの達人。人呼んで利尻のバンクシー。
*バンクシーとは、イギリスを拠点とする世界的に有名な匿名の素性不明のアーティスト。

隠れた島の魅力をクールに表現 利尻島初のアパレル・雑貨ブランド 「CHICO GARAGE RISHIRI BASE」

わたしの
好きなこと

この島に住んでいなければ
見るここのできない景色を
ありのまま描きたいのです。

向日葵が好きだった母に捧げた初期の作品。棺の中に眠る母とともに燃えていきました。



稚内しんきん 礼文支店のミニギャラリーでも個展を開催。(2022.3/1~31)



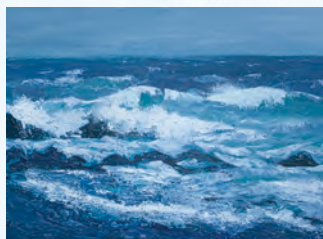
岡本さん曰く「礼文の海が大好きで、波のくる感じや光の印象など、本物に見えるように描きたいのです。冬も大好きで、激しい高波も鉛色でさえ私には美しく感じます」。現在、小3と来年小学校入学を控える二児の母でもあります。



第48回朔北美術協会展 会友推挙・朔北美術協会賞「Good morning」(F25)



第49回朔北美術協会展 会友推挙・朔北美術協会賞「Sunset」(F20)



「キトウスにて」(P8)



Okamoto Mery
岡本 芽李衣さん

- 1988(昭和63)年3月生まれ。羊蹄山の麓のマチ喜茂別町出身。
- 礼文島油絵愛好会に所属する新人で、油彩を古川照和氏に師事。
- 第48回・49回朔北美術協会展(公募)にて、2年連続で最高賞の会友推挙・朔北美術協会賞を受賞。

喜茂別町から礼文町へ移住

石狩と後志の境界線の一つ、札幌市南区と喜茂別町の境界線をなす中山峠(R230号)頂上にある道の駅・望羊中山は「あげいも」で有名ですが、その峠付近にあるヒヨロ長いモニュメントをご存知でしょうか。実はそれはアスパラガスをモチーフにしたもので、喜茂別は北海道のアスパラガスの発祥の地なのです。大正末期に当時の村長が「アスパラガスこそ本村に適した作物」と苗百本を試作

したことがはじまりのようです。その中山峠から羊蹄山の山頂までが喜茂別町の区域で、国道を下っていくと、なんと羊蹄山が2つ見えてくるビューポイントに遭遇します。すなわち右が羊蹄山で、左に見えるのが山容のよく似た尻別岳。もし、ルスツ、洞爺湖方面へお出かけの際には、その騙し絵のような不思議な光景を楽しまれてみては。

さて、そんな喜茂別町出身で、幼い頃から蝦夷富士こと羊蹄山に親しんできた岡本さんですが、その後に移住した先は、まるで「富士」つながりで導かれたかのように利尻富士を望む礼文島でした。画歴2年の新人ではありますが早くも頭角を現し、今後の活躍が期待されます。ずっと昔からあこがれていた油絵

「高校まで喜茂別で暮らし、卒業後は札幌の狸小路にあるお店で美容部員として仕事をしていました。その多忙な毎日に区切りをつけ、一人旅で訪れたのが礼文島でした。言葉で表現するのが難しいほど『なんて美しい島なのだろう』と感嘆してしまいました。それに加えて島の人の心の温かさに惹かれ、町の人の『急いで帰る用事がないのならゆっくりしていいよ』の言葉に誘われるように、リゾートバイトを続け、当初1ヶ月だった滞在予定が半年、1年と延びていって、やがて島の人と結婚する運命となりました。

油絵はずっと昔からあこがれていて、描いてみたいと思っていたのですが、機会がありませんでした。たまたま島の本屋さん(BOON愛ランドれぶん)で働いていた友人から「礼文に絵画の愛好会があるよ」と聞き、早速、礼文島油絵愛好会の門を叩きました。代表者は古川照和さんという方で、即座に師事さ

せていただき、何から何まで古川さんから学んでいます。」
まずは少ない絵具で30枚が目標
「少ない絵具(5色程度)を混ぜて色をつくることからトレーニングをはじめ、とりあえず自分の画風を認識するのに30枚描きなさいと教えられました。まだ20点ちょっとで道半ばです。最初にテーマにしたのは花でした。病床に伏した母(黒田薫さん 享年60才)のために、生花の代わりに贈りました。のちに亡くなった時、棺の中に添えることができたかと思えます。

以後は礼文の海をテーマに描き続けています。思いがけない昨年と今年、朔北美術協会賞を受賞しましたが、これを励みにさらに精進していきます。いつの日か私の絵が欲しい、絵を飾りたいと言ってもらえたらそれに勝る喜びはありません。」



Police Officer
of North Town

一人ひとりの心がけと地域の力を結束して— 「地域の安全と安心を守る」 北のマチのおまわりさん

北海道旭川方面 稚内警察署

香深駐在所長 北海道警部補 **仲谷 雄大**さん (44)



- 出身地：小樽市（生まれは大樹町）
- 赴任先：旭川中央警察署、旭本自動車警ら隊、成田国際空港警備隊 他
- 家族構成：妻（礼文町立香深保育所でお世話になっています。）
- 趣味：トレイルランニング、ソロキャンプ、フットサル（警察官になってからも先輩たちと一緒に楽しんでいます。）
- 好きな食べ物：ラーメン、そば
香深駐在所に着任早々、1週間で礼文島の全飲食店を制覇！
ほっけのちゃんちゃん焼きで有名な「ちどり」さんだけ休業中だったため、それを含めても2週間で島の味を堪能しました！

高校時代を過ごした稚内

父が海上保安庁に勤務していた関係で、さまざまなマチで暮らしましたが、なかでも高校時代を過ごした稚内は、とてもいいところでした。稚内高校に通いましたが、どの人もいい人ばかりで、悪い人がまったくいないのです。その時に「宗谷地方の人たちは根が優しく友だち思いである」ことを痛感し、いつかはまたこの地域に來ようと思いに決めていました。事実、その後も趣味のフットサルを通じて、毎年稚内を訪れ、仲間との交友を深めています。そんなこともあって、私を育ててくれた地域に感謝するとともに恩返しをしたいと思い、香深駐在所には自ら希望してやってきました。



第40回市民フットサル大会
2011年2月(稚内市総合体育館にて)

礼文町の広報での
異動のごあいさつ



礼文町では交通事故死
ゼロ5000日(来年3月
23日達成予定)をめざ
しています。

公務員志望で警察官に

警察官になろうと思った動機は、父の背中を見て育つたためと言いますか、公務員を志望していました。自衛隊、消防、郵便局も考えましたが、一番先に行われる警察官の試験に合格したものですから、その時点で即決。他の道の選択肢はなくなりました。これは合格後に母から聞いた話ですが、幼稚園の頃から刑事ドラマの『西部警察』が好きで「大きくなったら警察官になる」と言っていたそうです。主な赴任先は旭川中央警察署を皮切りに、旭本自動車警ら隊、機動隊を経て、千葉県警察成田国際空港警備隊、直近の配属は北見警察署の鑑識係でした。成田は志願して出向したのですが、それはある種、自分の夢を果たすためでもありました。高校卒業後

の進路を決める際、実は、指定校推薦で大東文化大学を薦められたのです。ところが当時の私は首都圏に出るのが怖くて臆病者だったのです。それで札幌学院大学を選択しましたが、警察官になってからも「一度は外に出るべきだった」と後悔していたのです。ところが、警察官には成田へ行けるチャンスがあることを知り、挑戦することに。当時は巡査が10名、巡査部長は一人しか採用枠がなかったのですが幸運にも私が選ばれました。全国から選抜された勇者たちの中で切磋琢磨したことはいい経験でした。日夜、ビル警備やゲリラ・テロ対策の任務にあたりました。その時に、自分は性格的に、刑事や鑑識よりも執行隊に向いていることを知りました。**礼文は思っていた通り、いい島**

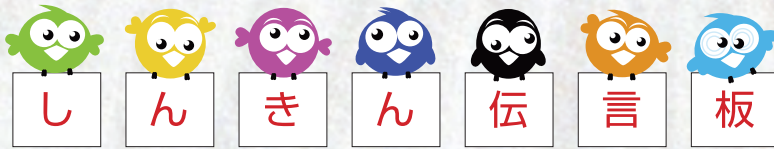
香深駐在所へは今年4月に赴任してきましたが、思っていた通り、いい人ばかりのいい島です。事件事故も少なく安心安全なマチですが、かと言って怠慢になるつもりは毛頭なく、島の治安を守りながら、人々のふれあいを大切にしていきたいです。よろしくお願いします。

札幌南警察署時代のよき思い出
島内でも予兆電話の報告があり、道内では引き続き特殊詐欺が横行しています。加えて昨今では闇バイトに絡む大規模な組織的犯罪、凶悪な殺人事件なども発生し、警察官として憤りを感じることがしばしばです。

そんな暗いニュースが続く中、明るい話を思い出しました。10数年前、札幌南警察署の藻南交番に勤務していた時、たまたま石山交番に配転されていたのですが、そこに突然女子高生が訪ねてきたのです。「どうやって公務員になれますか？私は頭も悪いし、うちは母子家庭でお金もなく参考書も買えません」と言い出したのです。そこで私は持っていた本を10冊くらい彼女に差し上げたのです。数年後、ある女性が私を訪ねてきました。「あの時はありがとうございます。札幌市役所に合格しました。札幌市役所は無関係ですが、人助けができ嬉しかったですね。」



●稚内警察署 香深駐在所
礼文町大字香深村字トンナイ700番地
☎0163-86-1110



特殊詐欺未然防止

8月21日(月)、利尻富士支店の職員が適切な対応により特殊詐欺の被害を防いだとして、稚内警察署より感謝状を拝受いたしました。

当金庫では今後もお客さまの大切な資産をお守りするため、職員一丸となって詐欺被害防止に努めてまいりますので、少しでも疑問や不安に感じることがありましたら、一人で悩まず、お気軽に稚内しんきんへご相談ください。



稚内警察署より表彰
(利尻富士支店)



夏のイベントに参加

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、今年の夏は各地域で様々なイベントが開催されておりますが、当金庫職員は、各地域のイベントを盛り上げるべく、踊って焼いて仮装して—暑い夏を地域の皆さまと一緒に満喫させていただきました。



7/16(日)
第49回さるぶつ観光まつり
(猿払村)



8/6(日)
第60回稚内みなと南極まつり
(稚内市)



8/15(火)
サンバロケット祭り
(雄武町)



8/13(日)~15(火)
中央地区合同盆踊り
(稚内市)



全道信用金庫野球大会 道北地区大会 優勝!!

北海道信用金庫協会主催の第73回全道信用金庫野球大会道北地区大会が7月22日(土)、稚内大沼球場にて開催され、当金庫野球部が優勝、3連覇を果たしました。

当日は天候にも恵まれ、7年ぶりの地元開催ということで気合いが入る中、選手たちは仲間や応援団の声を糧にして、最後まで粘りのあるプレーをし、全道大会への切符を手に入れることができました。

8月20日(日)につどーむ(札幌)で行われた全道大会の結果は準優勝でした。



ナイスピッチング



優勝の瞬間



道北地区大会で3連覇を果たした野球部のみなさん

稚内信用金庫は中小企業の円滑な事業承継をサポートします!

■主な取引先の後継者

※2023年4月~2023年7月
(カッコ内は就任日)

有限会社やまお小川水産(稚内市) 代表取締役社長 小川 雅弘氏(2023/4/1)

※前代表取締役社長の 白幡 正利 氏は取締役会長に就任

有限会社名山(幌延町) 代表取締役 藤井 和之氏(2023/4/1)

※前代表取締役の 藤井 サキ子 氏は退任

株式会社電建(稚内市) 代表取締役 福士 亮二氏(2023/5/19)

※前代表取締役の 石川 修二 氏は取締役会長に就任

株式会社中田組(稚内市) 代表取締役社長 中田 有介氏(2023/5/29)

※前代表取締役社長の 中田 伸也 氏は代表取締役に就任

株式会社カブトヤ(稚内市) 代表取締役 相内 一郎氏(2023/6/1)

※前代表取締役の 岡谷 繁勝 氏は退任

株式会社高橋建設(幌延町) 代表取締役 高橋 健氏(2023/6/14)

※前代表取締役 高橋 和子 氏は退任

株式会社ニュー温泉閣ホテル(豊富町) 代表取締役 上坂 仁哉氏(2023/6/25)

※前代表取締役の 上坂 敬志 氏は取締役会長に就任

稚内印刷株式会社(稚内市) 代表取締役 杉川 真氏(2023/6/29)

※前代表取締役の 杉川 毅 氏は代表取締役会長に就任

株式会社よつばフォレスト(稚内市) 代表取締役 美田 和夫氏(2023/7/11)

※前代表取締役の 八幡 篤司 氏は取締役相談役に就任

株式会社相沢食料百貨店(稚内市) 代表取締役 福岡 敏彦氏(2023/7/25)

※前代表取締役の 相沢 誠吾 氏は取締役会長に就任



~ポート部だより~

稚内しんきんボート部は、昭和60年に発足しました。

『ボートって何?競艇?』ボートは、オリンピック種目の一つで、1人~8人漕ぎがあり、さらに舵手(舵取り)付きや舵手無しがあります。競技距離は1kmや2kmで川や湖を

競技場として速さを競いあう競技です。

私達の練習場は、幻の魚イトウも生息する声問川で、強風が吹く稚内でもここだけはあまり風が無く、練習には最適ですが、部員が少ないこともあり現在は、親睦を深めることを中心に活動しています。興味ある方の連絡をお待ちしております。

Boat
Club



●商品のお問い合わせ先

マルナカ中島商店 駅前店

礼文町香深村字ワウシ フェリーターミナル前
☎0163-86-2161

これぞ北の逸品・REBUN de

いいもの 見つけた



ザ★プレゼント



プレゼント商品

糠ほっけと 礼文島だし昆布

今回ご紹介したマルナカ中島商店の「糠ほっけと礼文島だし昆布」を、抽選で5名様にプレゼントいたします。ご希望の方は、おハガキに「糠ほっけと礼文島だし昆布」と書き、①住所 ②氏名 ③年齢 ④職業 ⑤電話番号 ⑥ジャスト・ナウに対するご意見、ご感想等をご記入のうえ下記まで郵送ください。

- 送先/〒097-0022 稚内市中央3丁目9番6号 稚内信用金庫 ジャスト・ナウ編集部行
- 締切/2023年11月30日(木) (当日消印有効)
- 当選者の発表/商品の発送をもって換えさせていただきます。※12月中旬頃発送予定です。

読者のお便りコーナー

★130号は稚内市の内容がとても詳しく書かれており、次回稚内を訪れた時に寄ってみたいお店が多くあり楽しみです。つづ貝は大好物なので「こんなのがあったんだ!!」と是非、食べてみたいと思っています。友人、家族にもすすめてみたいです。枝幸支店の入口に並ぶ「ジャスト・ナウ」、号が変わるのを楽しみにしています。(枝幸町の方)

★夏に夫と車でジャスト・ナウを片手に稚内、利尻、礼文を訪れてみたいと計画中。海の幸を求めて、ゆっくりとドライブを。今回のジャスト・ナウはオール稚内で、行きたいところがたくさん。スマホ、インターネットはダメとは言えませんが、自分の時間にゆっくり読めるジャスト・ナウが嬉しいね。(旭川市の方)

★私は道北出身なものですから近所に稚内信金がありますので利用させていただいています。地元で頑張っている企業、また経営されている方の考え方などは、毎日の生活のなかでも考えさせられることが多いです。JUST NOWという言葉も好きです。(札幌市の方)

※一部抜粋して掲載しています。

島の名物を自社加工場でつくる
礼文島の老舗、マルナカ中島商店の



「糠ほっけ」と「礼文島だし昆布」



マルナカ中島商店
駅前店 店長
中島 弘貴さん

リターミナルも徐々に活気づいてきました。1階の正面出口を出ると道路の向こうに軒を連ねる土産店が見えてきます。その一番左側に位置しているのが、マルナカ中島商店 駅前店。朝に夕に人の往来が絶えない人気のある土産店で、礼文島を代表する商店の一つです。中島店長に聞けば「創業は大正初期で、店の歴史はゆうに百年を超えています。父(信一さん)で4代目」とのこと。そんな老舗を支えてきた背景に何があるのだろうかと思いを巡らせ、店内を歩けばすぐに答えが見つかりました。最も目につきやすい入口付近のディスプレイは、自社製品で占められているのです。甘漬け粒うに(ばふんうに)の『磯にしき』、香深前浜産『礼文島だし昆布』、そして天日干し『糠ほっけ』など、どれもこれも自社の加工場でつくられた秘伝の味で、地元漁師さんさえ唸る美味しさなのです。

★**自社で熟成させた「礼文島だし昆布」**
「うちで加工している香深産の天然りしり昆布もお土産として常に喜ばれています。香深産のものは京都の料亭などでも最高級とされるほどの折り紙つきで、だしがよく出て、養殖ものとは香りの立ちも違います。一度ぜひご賞味ください。ご飯の上に糠ほっけを乗せ、当店



★**糠ほっけは「ほっけの生ハム」**
「生で食べる糠ほっけは、古くから礼文島に伝わる保存食です。秋に獲れた香深産の新鮮なほっけを貯蔵し、まだ肌寒い風が吹く春(4〜5月)に特製の糠塩に漬け、1ヶ月間天日干しします。その後、ゆっくりと弱い燻製を1週間かけ一つひとつ手づくりしています。食べる時は、両ヒレとしっぽを切り、引っ張るだけ。骨も皮も簡単に剥けます。ワイルドだった形のイメージからは想像もできないほどソフトで柔らかな仕上がりで、みなさん『ほっけの生ハムだね』と言って喜んでいただいています。唐辛子を振ったマヨネーズにつけて食べるとお酒が欲しくなります。」

マルナカ中島商店にしかない
礼文島のイトコ取りがいっぱい!

[駅前店] 土産品、自社製水産加工品
酒、タバコ

- 営業時間/7:00~18:00
- 営業期間/4月中旬~10月中旬 (営業期間中は無休)



[本店] 食品、生鮮品、海産物、米
塩、酒、タバコ、日用雑貨
礼文町香深字トンナイ819
TEL.0163-86-1003

剥いて、裂いて、生のまま食べる「糠ほっけ」の極上の旨さ!

日本人の味覚に訴える
「礼文島だし昆布」



香深前浜産の貴重な天然昆布。中島商店では買った昆布をそのまま販売することはせず、自社で熟成させる。



70g入/800円(消費税込)
※直射日光、湿気を避けて保存

糠ほっけは、干物の開きやちゃんちゃん焼きとはまったく別の美味しさを教えてくれる。



材料は香深産ほっけ、米糠、塩
450g入/1,300円(消費税込)
※冷凍保存

